

活動報告



産前・産後ケアセミナー (鎌倉ブロック研修会)レポート

ライフサポート部 杉山さおり 寺尾 詩子

会員ライフサポート部
活動報告 第60報
職場環境を考える

ライフサポート部では、誰もが働きやすい環境作りをテーマに活動を続けています。そんな中、目に留まった活動がありました。育休中の女性理学療法士が地域でウィメンズヘルスを広めていくために立ち上げたグループ「mama care 湘南」と、活動拠点となるブロック内での研修活動を検討している理学療法士がうまく繋がって開催できた研修会です。今回はこの様子を報告します。

この取り組みは、育休中で孤立、不安な生活を送りがちな理学療法士にとっては、興味をもって参加することができ、周囲のスタッフとつながりを持つ機会となりました。ブロック化を推進する立場としても研修が充実する、経験がありながら離職していくのを防ぐことができる、地域での継続的なネットワークが構築できるといった可能性を感じさせるものとなりました。ブロックの活動の活性化と子育て中の女性理学療法士の活動の支援が実現したこの研修をきっかけに、ライフサポート部でも、ブロック単位でのつながりに注目し支援の在り方を検討して行きたいと思えます。

■開催日：平成29年3月26日（日）

■テーマ：「医療職だからこそ知っておきたい！女性を救う！職場を救う！！産前産後ケアセミナー」

■目的と参加者：まだ日本では制度として確立されていない「産前・産後のからだのケア」を広めるためには、まず理学療法士自身がからだのケアが出来るようになることも大切なことであり、さらに産前・産後のからだの変化についての知識は、職場でも妊産婦さんのことを理解するために役立つ情報です。そこで妊娠・出産を経験する女性だけではなく、管理する立場の人や職場の人にも広く知ってもらうために、男女を問わず、またOT・STも含めたりハ職を対象にした研修会として開催されました。参加者は子育て中の女性や妊娠中の女性、パパであり管理職である男性、そして何とか妊娠・出産を経験する女性をサポートしたいという未婚の女性など、19名が参加されていました（当日キャンセルあり）。

■セミナーの内容

第1部では、「産前・産後のからだケアは、なぜ必要!？」というテーマで、私が担当させていただきました。管理職や周囲のスタッフが妊娠・出産にまつわる女性のカラダの変化について理解が出来ていない、妊娠したことによりハラスメントを受けた、体の不調を理解してもらえなかったという声がありました。このような問題は、当事者も周囲のスタッフも女性のからだの変化を知ること、出産・育児をとりまく制度を知ること、妊娠・出産を経験する女性も働き続けられる環境に近づくのではないかと、この思いから、県士会での調査報告や制度紹介も含めて話しました。

第2部では、mama care 湘南のメンバーから、具体的な妊娠・出産による女性のからだの変化についてのレクチャーと、簡単な実技まで、お子さんと同室の中、皆さ

ん熱心に学ばれる姿が印象的でした。

第3部のグループディスカッションでは、「職場環境を考える」「働き方を考える」「産後のケアを考える」という3つのテーマを提示し、どの内容を話し合いたいと事前に聴きとってグループ分けを試みました。

「働き方を考える」というテーマを選んだ参加者が多く、ディスカッションにも熱が入り、それぞれのグループで女性が働き続けるためにはどうしたらいいか？周囲はどうサポートすればいいか？真剣に話し合う様子が印象的でした。

■参加者からの声（セミナー後のアンケートより）

「産後の女性PTの働き方を考える良い機会になった」「職場全体に産前産後リハを周知してもらおう」「妊婦やママに共感して話を聞いていきたい」など、意欲的な感想が多く、また「同じような経験をした人と話せて良かった」「不安・心配事が和らいだ」というピアカウンセリングの効果を示す内容も見受けられました。

■mama care 湘南代表 安藤瑞季氏より

この度は、鎌倉ブロックの研修会として、リハ職に向けて産前・産後の女性のからだの変化についてセミナーを開催させていただいたことを、大変有難く、光栄に思

医療職だからこそ知っておきたい！
女性を救う！職場を救う！！
産前・産後ケアセミナー

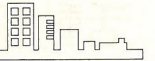
経期中や出産後の体はどう変わる？妊婦さんや産後のママは、なぜサポートが必要なの？産外と知られていないウィメンズヘルスケア。これから妊娠・出産する人も、職場に妊婦さんや産後のママがいる人も、そして出産を経験したママも正しい知識を身につけて、みんなが働きやすい環境を作りましょう！！

日時 3月26日(日)13:30~15:30
場所 鎌倉生産学習センター 3階和室
JR鎌倉駅東口より徒歩3分 駐車場なし
定員 先着30名
参加費 県士会員 無料 / 県士会員以外(OT・ST含む) 300円

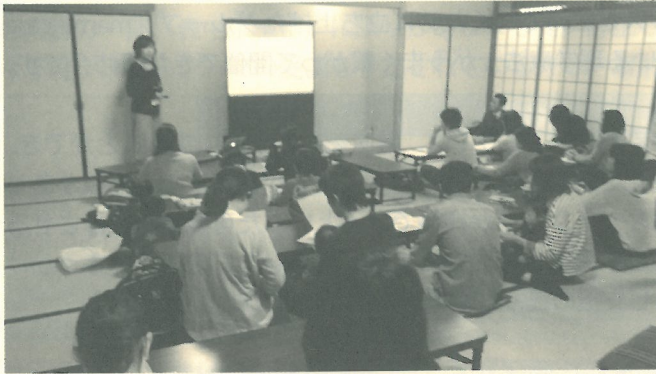
お申し込みは、QRコード又は下記メールアドレスまで。
お問い合わせ Mail: mama.care.shonan@gmail.com
お申し込み Tel: 030-0141-3878(代蔵:安藤)

主催 (公社)神奈川県理学療法士会鎌倉ブロック 運営: mama care 湘南

活動報告



います。今回、参加者の約半数の方がお子様連れという、非常に賑やかな講座となりました。地域の産前・産後女性に寄り添い、さらには“子供を連れて学べる場”“自分自身の経験を活かせる場”として、子育て中の理学療法士が輝けるフィールドにもなれるような活動を展開して参ります。



■ブロック長 黒水氏より

職場の管理者・理学療法士として感じたことは、妊娠中、子育て中の女性の就業については、社会的な問題でもあり、当院リハ科でも3/4が女性、PTも2/3が女性です。特に、法的なことも含め、職場管理者として把握すべきこと、理学療法士としての知識をひろめつつ、どのように働いてもらうのか、考えるべき事の多いテーマだと感じています。ぜひ、多くの方、特に男性理学療法士にも

聞いていただきたい内容です。また、ブロック長の立場としては、研修会の企画が課題だったところ、mama care 湘南の先生方が主体となって企画・開催・運営していただきましたことに、大変感謝しております。mama care 湘南の先生方が、ブロックの会員でもありますし、mama care湘南の活動への参加者が増え、地域のネットワーク強化、職場を超えた社会的活動がより進むと大変ありがたいと思います。

■さいごに

普通なら無理だと考えがちな、育休中、仕事と両立中のメンバーが、生き生きと企画・運営していく姿を目の当たりにしました。そのような状況でも、仲間が集い、職場への産前・産後の理学療法について発信する機会をつくり、今後女性の学びの場、そして一般の女性への啓発活動などの公益的な活動も担おうとしている姿は、出産・育児で一度は仕事から離れざるを得ないママPTの復帰までのサポートにもなるのではないかと感じました。ブロック内で活動することで、地域の理学療法士の顔の見えるつながりとなり、活動の継続で、地域ぐるみの実態のある活動として「働き続ける、働きやすい環境」が実現できるでは！？と期待しています。ライフサポート部としては、他の地域にもこのような活動が広がり、継続していくための支援が出来ないか？検討していきたいと考えています。

◆平成29年度復職支援実務研修のお知らせ◆

- 【目的】もう一度働きたいけど臨床から離れた不安から躊躇されている方に、現場での見学や研修を通して自信をつけてもらうことを目的とした研修です。
- 【対象者】離職中の神奈川県理学療法士会会員（離職の理由は不問、復職先が決まっている方は対象外）
- 【研修先】希望の地域、職域（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます
※研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています
掲載されている施設以外も交渉していく予定ですので、お気軽にご相談ください
- 【期 日】5時間×1～5日間分（連続5日間でもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
- 【参加費】1日につき1000円 【申込締め切り】平成30年2月28日

◆平成29年度託児室付講習会のお知らせ◆

今年度も生涯学習部とライフサポート部で企画した下記の講習会に託児室を設置します。研修会の詳しい内容・申込み方法は、ホームページでご確認下さい。

- 9月 2日（土） 神経理学療法領域講習会（県立保健福祉大学）
- 9月10日（日） 働き続けるためにコミュニケーションを見直そう（ウィリング横浜）
- 10月 1日（日） 股関節の理学療法（横浜リハビリテーション専門学校）
- 10月 7日（土） 心血管疾患のリハビリテーション（県立保健福祉大学）
- 12月10日（日） 小児領域講習会（国際医療福祉大学；サテライト会場の設置）

【問い合わせ先】下記までメールでお願いします。詳しくは県土会ホームページをご覧ください
lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（ライフサポート部 寺尾）